

## 特別展「暁斎プラスワンシリーズ 25 堀田操・堀田浅子-二つの旅-」展

### 同時開催 企画展「暁斎・暁翠の錦絵—版下絵から版画まで—」展

会期：2016年9月2日（金）～10月25日（火） 休館日：10/26～31、毎週木曜

入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円、団体要予約（20名以上）

先月に引き続き、2つの展覧会を開催しております。

企画展は先月ご紹介した通り、暁斎・暁翠の多彩な錦絵展です。

河鍋暁斎記念美術館のHPへはこちらから↑  
<http://kyosai-museum.jp/>



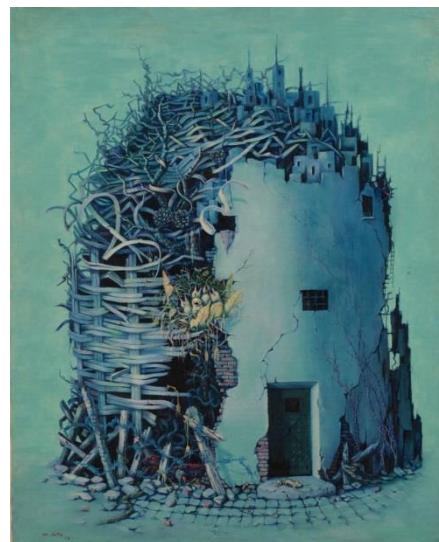
特別展の「暁斎プラスワンシリーズ」は、暁斎やその作品に強く影響を受けたり、暁斎に関心をもって下さる現代作家の作品を、暁斎作品とともに楽しみいただく展覧会です。第25回目を迎える今回は、昭和初期に「シュルレアリスム絵画」の紹介者として知られた福沢一郎と一時期活動を共にした超現実主義の画家・堀田操氏と、その奥様で銅版画家の堀田浅子氏との競作展です。

### 堀田操「不安の貯蔵」 1954年 油彩

堀田操は、第二次大戦でシベリアに抑留されました。悲惨で過酷な日々の中、体を悪くして、ついに死体置場に寝かされたそうです。地獄のような世界を、身をもって体験したのです。戦争のことをあまり語りませんでした。この窮極の恐ろしい体験は生涯、作品の根底に流れているように思います。

深いブルーを基調とした廃墟や<sup>どくろ</sup>髑髏などの心象風景が多く描かれています。生と死の境を彷徨った心の旅路ではないでしょうか。内外に危機感や不安感が募る今、現代にも通ずる作品だと思います。

（堀田浅子氏によるメッセージより）



### 第一中学校けやき学級（特別支援学級）

2学期が始まり、一大イベントである第70回体育祭が、9月18日（日）に行なわれました。あいにくの雨でしたが、皆とても頑張っておりました。体育の授業、学年練習、クラス練習、全体練習、朝練習、放課後練習など日々練習に励んでいました。台風の影響で、なかなか練習ができない日もありましたが、そのような状況の中でも生徒達は本当によく頑張りました。個人種目の100m走では、ダッシュやクラウチングスタートの練習を行ない、団体種目の大縄跳びや学年種目では息を合わせて動く練習を行いました。体育祭当日は、元気いっぱいの市歌や

ノ思い切り全身を動かすラジオ体操で、気持ちよくスタートをきることができました。お昼には教室で円になって座り、楽しくお弁当を食べました。個人種目や団体種目も、練習の成果が充分発揮でき、体育祭が終わった後はみんな達成感に満ち溢れていました。そして、雨の中たくさんの方々が見に来てくださっていて、生徒たちはさらに頑張ることができたようです。ありがとうございました。

10月には、第二中学校との合同宿泊学習や合唱祭があります。体育祭を通してたくましくなった生徒のこれからの活躍がとても楽しみです。